

いもち病・カメムシ類の発生に注意！

1. いもち病

いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう！

6月中旬以降曇雨天が続き、いもち病にかかりやすい天候が続いていた影響で、湖北地域でも「葉いもち」の発生を認めています。いもち病が発生しやすいほ場を中心に見回り、発生が認められた場合は防除しましょう。

病害虫発生予察注意報第1号が発表されていますのでご参照下さい。

2. 斑点米カメムシ類

防除は出穂10日後頃(粒剤は出穂7日後頃)に行いましょう！

《生育状況と防除時期》

斑点米カメムシ類の適期防除に心がけ、遅れないように注意しましょう。

薬剤防除の適期は、出穂7～10日後です。

粒剤を施用する場合は、田面を露出させない程度に浅く湛水して、散布しましょう。



写真：滋賀県病害虫防除所

《斑点米カメムシ類の防除時期のめやす》

品種	移植時期	出穂期予想	防除時期	
			粒剤	粉剤・液剤
コシヒカリ	5月上旬	7/30～8/1	8/6～9	8/9～12
	5月中旬	8/3～6	8/10～13	8/13～16
みずかがみ	4月下旬	7/18～22	7/23～27	7/26～30
	5月上旬	7/21～24	7/26～29	7/29～8/1

※「みずかがみ」は、防除時期が「コシヒカリ」より早いので注意!!

雑草管理が不十分な畦畔でイネの出穂期以降に草刈りを行うと、斑点米カメムシ類を水田内に追い込むことになり、被害が増大する恐れがあります。やむなく行う場合は、薬剤防除直前に実施しましょう。